

〔3番 谷口敬信 登壇〕

◎議長（澤史朗）

なお、質問中、資料の使用願が出ておりますのでこれを許可いたします。

○3番（谷口敬信）

それでは、議長のお許しをいただきましたので一般質問に入らせていただきます。

今回、大きいタイトルで2点質問させていただきますのでよろしくお願いします。昨年12月の一般質問で特に歩道除雪についてお尋ねいたしました。12月から今年2月にかけての降雪量が例年の半分以下、昨年度の約3割程度と少なかったこともあり、市道・県道の除雪が、私の住む地域では、例年以上の頻度で行われたと思っています。飛騨市、古川土木事務所、事業所職員様及び関係者の方々にお礼を申し上げたいと思います。

私有の小型ロータリー除雪機の稼働も昨年12月から今年2月までに計6回の作業で終わり、少し物足りなさを感じておりますが、新年度に向けて基盤整備事業に関して取り上げてみました。参考市資料の写真の1の①で見ていただければ幸いです。①岐阜県の事業計画、河川工事の進捗状況について。近年、地球の温暖化がもたらす気候変動の影響により気象災害が激甚化、頻発化し、河川の氾濫や土石流による被害が全国で毎年のように発生し、私たちの住む飛騨地方も例外ではなくなりました。政府は国土強靱計画に基づき全国各地で令和3年度より5年間、激甚化する風水害や切迫する大規模地震等への対策として、おおむね12.3兆円程度の事業規模を展開しています。平成14年度の河川災害では、袈裟丸地区及び下野地区において、宮川のバックウオーター現象で道路、農地が約1.5メートル水没いたしました。また、飛騨市内では宮川及び支川の河川災害復旧工事も完成に向けて工事が進んでおります。

そこで、飛騨市古川町下野地内の宮川左岸・護岸改修事業についてお尋ねいたします。現在は、構築物の影響がない上流側の堤防の盛土と護岸工事がおおむね完成いたしまして、株式会社吉城生コンの移転先である県道谷・高山線西側の造成工事が進んでおり、南城建設協同組合の移転先は造成工事何れも進んでいない状況であります。岐阜県の事業で難しいことは理解できますが、地元住民のご理解を得るためにも、今後の完成に向けてのスケジュール、工程を分かる範囲でのご説明をお願いします。

2点目は飛騨市基盤整備部の事業計画について。岐阜県古川土木事務所発注工事は、昨年12月より3月にかけて補正予算での入札・契約情報が相当数の件数で建通新聞に記載されており、非常に有り難く思っております。

しかし、飛騨市発注工事は昨年12月よりほぼゼロで入札・契約情報が記載されていません。今年度は降雪も少なく、除雪作業も減り、災害・一般工事の進捗状況もかなり早くなっているように思われます。そこで、早期発注に向けて適切な事業の発注状況が分かる範囲での説明をお願いします。

3番目に各振興事務所所管の小規模工事の予算増額について。各振興事務所へは地域振興費という名目で飛騨市合併当初より、地域からの要望に速やかに対応できる所長権限の予算が配分されております。現在は市内4町に総額1億5,000万円余りが配分されており、住民生活に必要と判断される地域の小さな要望に対しても迅速に対応していただいております。地元住民からも感謝の声を聞いております。各振興事務所へは、地域からの数多くの要望が出されており、職員は限られ

た配分予算内で効果を検証し、事業の選択されていることとっております。

建設関係では、小規模な道路改良、側溝の改修、劣化舗装の打替え、日常を安心して暮らすための要望も多く出されていること考えています。市全体で地域から挙がってくる分野別の要望件数、主な要望内容について、またその対応状況について、お聞かせください。以上です。

◎議長（澤史朗）

答弁を求めます。

〔基盤整備部長 森英樹 登壇〕

□基盤整備部長（森英樹）

それでは、1点目の岐阜県河川工事の進捗状況についてお答えします。議員お尋ねの古川町谷地内において進められている一級河川宮川河川改修事業につきましては、飛騨地域管内で進められている河川事業の中でも優先度は非常に高く、早期に改修を図る必要がある箇所であることから、令和2年度に国の大規模特定河川事業として採択され、現在、岐阜県において一部築堤工事に着手するとともに用地補償を実施するなど鋭意事業を進めていただいているところです。

事業計画につきましては、採択からおおむね10年間と伺っており、市としましても早期完成に向け用地交渉に同行するなど県事業に全面的に協力してまいります。様々な課題があり、現時点では今後のスケジュールについてご説明できる状況にはないというのが実情です。

次に2点目の基盤整備部の事業計画についてお答えします。岐阜県古川土木事務所においては、議員ご指摘のとおり、12月補正予算において約6億5,000万円の事業費が確保され、道路及び河川砂防工事が順次発注されると伺っております。

一方、市においては、令和4年度基盤整備部所管の当初予算は県単事業を除きおおむね確保できており、補正予算による追加工事の発注はほとんどありません。

しかし年度当初の4月、5月には市内業者の事業量が減ることから、年間工事量の平準化を図るため、今年に入り既に7件の繰越工事を発注しており、年度をまたぐ繰越工事は全体で19件を予定しております。今年のように雪解けが早く、工事の進捗が早くなっても対応できるよう、今後も繰越制度を活用しながら年間の事業量の平準化に努めてまいります。

令和5年度の工事発注につきましては、基盤整備部建設課が所管する全体予算9億円のうち、主要工事は約50件を予定しており、そのうち上半期には約40件、8割の早期発注に努めてまいります。なお、各工事別の発注予定時期等の詳細につきましては、4月中には飛騨市ホームページで公表する予定です。

最後に3点目の地域要望等による小規模工事の状況についてお答えします。令和4年度の地区要望の件数は、市全体で955件、うち市所管の要望件数が671件、国県等への要望件数が284件いただいております。要望内容は小規模修繕で対応可能な道路修繕や水路修繕等から、多額の費用や長い年月が必要で事業規模も大きく早期対応が困難なものまで多岐にわたります。

市所管分の要望対応状況につきましては、年度内実施済が320件で実施率47.7%。検討・経過観察とするものが296件で31%。実施が当面困難であるものが213件で22.3%となっています。今後も地区要望の中から緊急性の高いもの、小規模でも効果の高いものなど、現場状況をしっかり確認しながら速やかに実施してまいります。

また、国・県所管の要望箇所につきましても緊急性の高いものについては、随時担当者と直接

連絡・調整を図りながら迅速に対応してまいります。

〔基盤整備部長 森英樹 着席〕

○3番（谷口敬信）

ありがとうございました。1点目の河川工事につきまして、令和2年から令和12年、10年間だと大体おっしゃいまして、今のところ近々の工程はちょっとまだ申し述べられないという回答でした。

私を知る限りなんですけども、株式会社吉城生コン及び南城建設協同組合、両者の移転補償費ですかね。条件と言ったらいいのか、問題で岐阜県の交渉が遅れているとのことですが、それに関してはご承知でしょうか。

◎議長（澤史朗）

答弁を求めます。

□基盤整備部長（森英樹）

用地補償に関する交渉には、市の職員も同行しておりまして、交渉の状況は承知しております。県事業でありますので、これ以上の答弁はお控えさせていただきたいと思っております。

○3番（谷口敬信）

やっぱり県の事業ですので、今、部長がおっしゃったように突っ込んではいけないと十分理解していますので、それに関しましても飛騨市としても、早期完成に向けて岐阜県と南城建設協同組合さん、株式会社吉城生コンさんと交渉の問題に、ぜひお力添えいただきいただきたいと思っておりますので、これ以上突っ込んだ話はしませんので、よろしく願いいたします。

議長、2点目を聞いてもいいですか。2点目ですけども、吉城建設業協会が約45社、そのうち飛騨市が25社と伺っておりますが、基盤整備以外の建築工事やら、下水道工事を含め適切な発注に努めていただきたいと思っておりますので、今もおっしゃったように3月に繰越して26件ですか。予定数を入れると、出されるということで一安心いたしまして、それに9億円の中でも上半期に40件、下半期10件ということでしたので適切に入札執行していただければ建設業者も非常にありがたいと思っておりますので、私の質問はこれで終わります。

そして3点目の各振興事務所の小規模工事に関してですけど、やはりかなり今、部長がおっしゃったように案件があるということで、現況から判断するには、現予算では対応が十分でないと考えておりますが、私は1億5,000万円と言ったんですが、今年度は大体予算は1億5,000万円ぐらいになりますか。ご返事お願いいたします。

◎議長（澤史朗）

答弁を求めます。

□基盤整備部長（森英樹）

今年地域振興費も1億5,000万円を確保しております。

○3番（谷口敬信）

ここ数年1億5,000万円ということで伺っていましたが、やっぱり財政も切迫している状況で住民生活に必要な課題を少しでも解消するためにも地域振興費の予算の増額及び緊急を要する事業を除いての余裕がある、ゆとりがある工期の発注を検討していただきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

では、大きく2点目の観光名所御所桜周辺の施設の整備についてお尋ねいたします。最初に杉崎駅及び隣接地区には、交通（JR杉崎駅・濃飛バス停留所）教育（古川西小学校・古川中学校）医療（大高医院・重山薬局）福祉（さくらの郷）住居（鮎ノ瀬団地・花もも団地）公園（杉崎公園・併設のサッカー場）歴史（小島城跡）金融・郵政（JA飛騨・杉崎簡易郵便局）産業（日本レヂボン・イビデン物産・KVK古川工場）等の公共・民間施設が点在しています。

今回は4月の桜の開花に向けて、古川町杉崎地区の観光名所、加茂川発展会協賛の「御所桜」をテーマに「暗闇の中に浮かび上がる桜鏡」関係人口の創出を目指した周辺の施設の整備について取り上げてみました。1番、参考写真2の①です。杉崎周辺の施設の整備について。インターネットにより詮索したところ、JR東海グループと飛騨市の関係案内所「ヒダスケ！」が連載し、高山本線の無人駅、杉崎駅を一緒に盛り上げていただける方を募集しますと2022年12月23日、JR東海MARKETという連載がありました。

皆さんも御存じですが、ショップ名「ヒダスケ！」飛騨市関係案内所-プロジェクトにより地域を盛り上げるために飛騨市杉崎駅を活用する案を全国の皆さまから募集し、募集いただいた多数の案の中から事務局が実施内容を選定いたしました。

そこで中略とありまして、地域の方々や駅社員も参加して、一緒に杉崎駅の活用案を考えていきます。タイトルは2点「桜の絵やアートで待合室をいっぱい！」2点目「無人駅なのに駅係員になれる!?!」「共同制作した絵やアートを展示する。」「地元の保育園から桜の絵を募集する。」以上の文面が記載されていました。

そこで、実際に駅周辺から現場までを散策したところ、既に地元より要望書が提出されているかと思いますが、駅周辺での水洗トイレの新設、昨年12月議会において水上議員が一般質問で発言されています。あと、安全な通路の確保として駅とホームの間の用水路の転落防止柵の設置が必要だと考えました。旧国道41号線を横断して歩道を歩いてからの連絡道路につきましては、太江川左岸の道路は舗装がなされており、転落防止柵も設置されておりまして安全で快適な通路でした。観光名所の御所桜、杉崎駅及び杉崎地区の活性化に向けて飛騨市の見解をお示し下さい。

②ライトアップに伴う助成金について。別途写真の桜の絵が載っています。2の②です。近年では、インターネット・SNSの普及に伴い下呂市、高山市、富山市等ご遠方より、夜桜の見学に来られる方もいらっしゃるということです。そこで、加茂川発展会及び杉崎区が負担しておられるライトアップに関わることについては以下のとおりでございます。1番、項目といたしましては、水田の水整地、平らにして水を張ることでございますが、それに関わる費用として労務費と機械経費。費用といたしまして照明工事費、照明器具と仮設を含む電気料金です。毎年10万円以上の費用が伴うとありまして、会員が減少する中での人員の確保及び資金調達の大変さを加茂川発展会の会員様より伺っております。ぜひ、杉崎地区のシビックプライドの醸成に向けての、助成金の取り扱いについて飛騨市の見解をお示し下さい。以上です。

◎議長（澤史朗）

答弁を求めます。

〔商工観光部長 畑上あづさ 登壇〕

□商工観光部長（畑上あづさ）

それでは、まず1点目の杉崎駅周辺の施設整備についてお答えいたします。まず、御所桜につ

きましては杉崎区をはじめ、加茂川発展会の皆様のご尽力によりまして、多くのお客様が訪れる飛騨市の新たな観光資源となっております。

また、現在進めております杉崎駅を活用した「ヒダスケ！」につきましては、JR東海主体に進めていただいておりますが、杉崎区や加茂川発展会の皆様にもご協力いただいております。その中で、御所桜シーズンにおけるトイレの設置や駅周辺の用水路の安全対策につきましては、JR東海に要望してございまして、今後、杉崎駅で開催されるイベントの際には、何かしらの安全対策を講じていただけると伺っております。

今後は、杉崎区の皆さまのニーズもお聞きしながら、「ヒダスケ！」の活用も含め、御所桜や小島城、杉崎公園なども含めた周遊コースの検討などを進めてまいりたいと考えております。

次に2点目のライトアップに伴う費用の助成金についてです。現在、市民の皆さまが主体となって取り組むまちづくり事業については、小さなまちづくり補助金により活動の支援を行っております。御所桜の関連でも平成29年度に御所桜・さくら祭り実行委員会からの応募がありまして、助成金を得てイベントを開催された事例もございます。この助成金につきましては、より多くの皆様にご活用いただくため、令和5年度からは新たにまちの元気応援事業として模様替えをし、補助率2分の1、上限10万円で地域の元気につながる新たな事業を積極的に支援したいと考えており、加茂川発展会及び杉崎区においても大いにご活用いただきたいと思っております。また、まちづくり拠点nodeにおいては、地域の提案に対して企画運営や補助金活用のアドバイスも併せて実施してまいります。

なお、御所桜ライトアップ事業につきましては、今年度ヒダスケ！と連携した新たな事業も進めることとしておりますのでよろしくお願いいたします。

〔商工観光部長 畑上あづさ 着席〕

○3番（谷口敬信）

1点目の施設の件なんですけども、桜まつりという御所桜の期間中だけJRさんのほうで簡易的に転落防止柵とか、トイレの設置を行うというように私は聞こえたんですけども、なんて言うか、あそこは多分用水路ですから、用水路に関しては、転落防止ですから多分基盤整備なのか。そういったほうの費用とか、トイレはちょっとJRで申請するのか、市でやるのか難しいところがあると思うんですが、新設ということは今考えていらっしゃるんですか。

◎議長（澤史朗）

答弁を求めます。

□商工観光部長（畑上あづさ）

JR東海さんに要望してまだ具体的に進め方の確認はしておりませんが、ただ常設的なものになりますと、前回の水上議員の質問でお答えいたしましたように駅自体に恒常的な設備を設置するということはJR東海さんのほうでは基本的に考えておられませんので、イベントの開催期間中に何らかの対応をされるというふうになると考えております。ですので、トイレでしたら仮設的なものになるのではないかと思いますし、用水路の安全対策についても、恒常的なものではなく、そのイベントのときに安全確保が図れるような何らかの対策を取られるのではないかと考えています。

○3番（谷口敬信）

今も申しましたように非永久的に工作物で残るように新設で今後ご検討をお願いいたしたいと思えます。よろしくお願いいたします。とりあえず今は保留にしておきます。

補助金の件なんですけど、今年から町の元気応援事業で50%の補助率で、最高で10万円以下ということで、今伺いましたので、とりあえず安心いたしました。

それで、御所桜のライトアップと水田の鏡桜は、約15年前から毎年続けられていらっしゃるということです。また、部長もおっしゃっていましたが平成29年には補助金をいただいて、都竹市長及び関係者の皆様もお招きし、盛大に桜まつりが開催され、見事な桜鏡を見られたと、当時、都竹市長は飛騨市の宝物だと言われたと地元関係者の方からお聞きしております。今後ともぜひ開催を持続されるようですので、いろいろと助成金の関係をよろしくお願いいたしまして、私からのご質問は以上で終わらせていただきます。本日はありがとうございました。

〔3番 谷口敬信 着席〕

◎議長（澤史朗）

以上で、3番、谷口議員の一般質問を終わります。